

令和元年度分 事業所向け 児童発達支援評価表 集計

児童発達支援センターあはは

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	18		
	②	職員の配置数は適切であるか	18		定員より多い職員配置をしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18		保育室、トイレ、ランチルームなど利用者様が見通しを持って生活できるような構造にしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地がよく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	18		活動によって、保育室、遊戯室を使い分けている。ダイナミックなあそびや運動あそびは遊戯室で遊んだり、クッキングの時には配膳室に近い保育室を使っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	18		職員会議等で各業務からの話や伝達を行っている。記録等の作業も効率よくできる様子を改善するなどしている。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等により保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	18		保護者向けアンケートを行い、業務改善を行っている。また、アセスメントやモニタリングを行い保護者様のニーズを伺い改善している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	18		保護者向けアンケートの結果と改善策をホームページにて公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			第三者による外部評価は行っていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	18		県のキャリアアップ研修や、事業所内の研修を行いスキルアップの向上に努めている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	18		個人の意見だけでなくチーム全体で分析ができている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	18		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子ども支援に必要な項目が適説に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	18		特に発達支援については具体的な支援内容を設定している。家族支援、地域支援については年齢に応じて支援内容を設定している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18		ケース記録の様式に支援目標を記載するようになってからより支援計画を意識している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	18		チームで検討した上で主任、副園長、園長等が確認を行い実行に至っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	18		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	18		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	17	1	十分に打ち合わせができないまま支援に入ることがある。非常勤勤務の職員との打ち合わせが充分にできていない。

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	18		夕方、全職員で保健衛生の話や共通理解をはかった方がよい事項の確認をしている。その後各部門に分かれて会議を行う。朝は管理者、リーダー等のミーティングを行う。全て記録に残している。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	18		他者が見ても分かりやすい記録の書き方、ポイントをおさえた書き方は課題である。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	18		半年に1回モニタリングを行い、見直しの必要性があるかどうかを確認している。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	18		主に児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	18		市健康増進課、子ども家庭課等と連携を図っている。
	㉓	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関連携した支援を行っているか	18		市が開催する医療的ケア連携会議に看護師が参加している。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	18		現在医療的ケア児は在籍していないが、医療的ケアが必要な場合の手順等は押さえている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18		移行支援の際は、資料等を用いて引継ぎを行っている。その後も保育所等訪問支援事業等でフォローアップを行っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18		移行支援の際は、移行先の職員に来てもらい利用者様の様子を見学してもらおうのと同じに引継ぎを行っている。その後も担任が決まった上で引継ぎを行い、保育所等訪問支援事業等でフォローアップを行っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	18		さまざまなケースに対しどのような支援が望ましいか話を伺っている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	16	2	年長児の中で地域の小学校に行くケースの場合、校区内の保育園や幼稚園に行き同年齢の子どもたちとの交流を図っている。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	18		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	18		伝えていたつもりだったが、活動の意図が伝わってなかったこともあり、共通の理解は持てなかったため伝え方に課題がある。園の様子を伝えるだけでなく、家庭の様子を聞くようにしている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	18		・単独部門は家での様子が見えづらいので、保護者の困り感の引き出し方や、提案したことの経過を話す機会をしっかりと作っていかなければいけないと思う。
保護者への説明責任等	㉜	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	18		
	㉝	児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	18		半年の利用者様の成長や課題に対するの姿を報告し、それに伴っての支援計画を提示している。
	㉞	定期的に、保護者からの子育て悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	18		
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	18		スマイルの会の運営に協力している。

保護者への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に苦情について、対応の体制を整備するとともに、周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18		苦情や要望に対して丁寧に対応するよう努めている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	18		月に1回活動予定表、クラスだより、給食だより、保健だよりを発行している。また週に1回単独通園部門には次週の予定を利用者様向けに発行している。
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	18		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	18		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	17	1	1月のもちつき会を通して地域の方々と交流している。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	18		
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	18		月に1回行うよう努めている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	18		入園前の担当者会議や家庭訪問で確認している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	18		医師の指示書をもとに対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	18		毎週の会議で必ず各部門で出すようにしている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	18		法人内の研修の他に職員にアンケートを取るなどして虐待防止の意識を高める機会を設けている。また利用者様の呼び名を全員〇〇さんと統一するなどして馴れあいにならないようにしている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	18		現在身体拘束を行う対象の利用者様はいない。